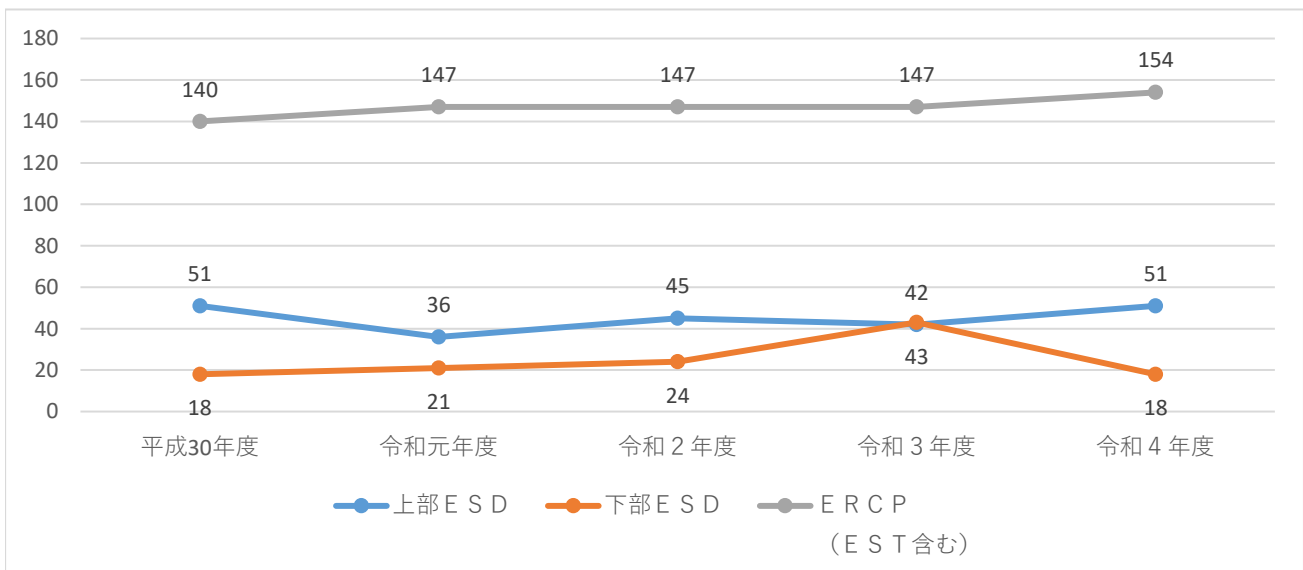


13 上部ESD、下部ESD、ERCP（EST含む）件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
上部ESD	51	36	45	42	51
下部ESD	18	21	24	43	18
ERCP (EST含む)	140	147	147	147	154



○ESD（Endoscopic Submucosal Dissection）：内視鏡的粘膜下層剥離術

内視鏡的に使用可能な高周波メスを使って、粘膜下層のレベルで病変を剥がし取る手技であり、主に消化管腫瘍の治療に用いられる。

上部ESDの対象部位：食道、胃

下部ESDの対象部位：大腸

○ERCP（Endoscopic Retrograde Cholangio-pancreatography）：内視鏡的逆行性胆管膵管造影
肝臓や胆管・胆嚢の病気の診断や治療を行うための検査。

○EST（Endoscopic sphincterotomy）：内視鏡的乳頭括約筋切開術

胆汁が十二指腸に流れ出る出口を、内視鏡で見ながら電気メスで切る拡げる治療法。